

～自然遺産ではなく文化遺産の誤とは～ 世界遺産富士山のごみ問題



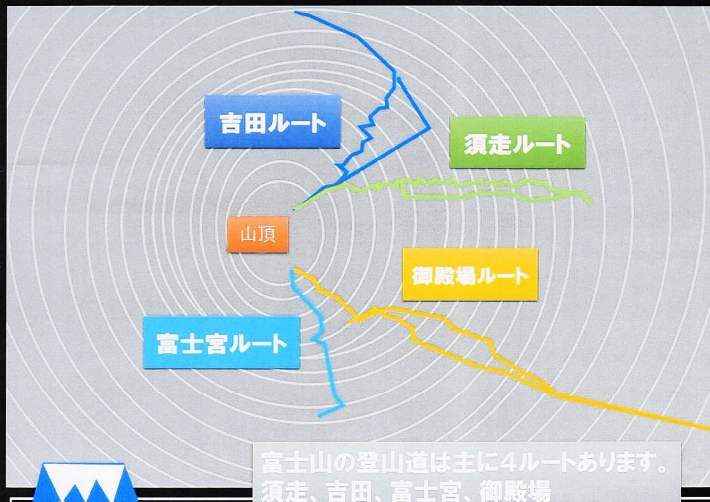
須走ルート

吉田ルート

富士宮ルート

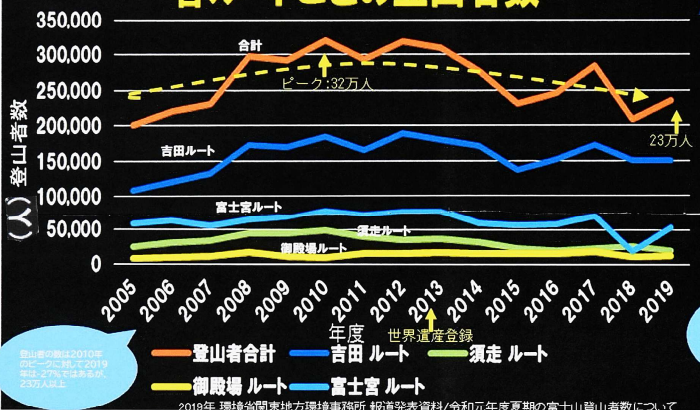
御殿場ルート

富士山の四つのルート



グラフA

各ルートごとの登山者数



グラフC

2014 各ルートごみ収集量



各ルートでのごみ回収量を知りたかったのですが、公にはそのようなデータは見つかりませんでした。環境省 箱根自然環境事務所 秋月さん個人が各ルートで拾ったごみの量です。各ルートのごみの収集量は登山者の多い吉田ルートが最もごみが多いです。他のルートと比べ2.5倍の量です。

グラフD

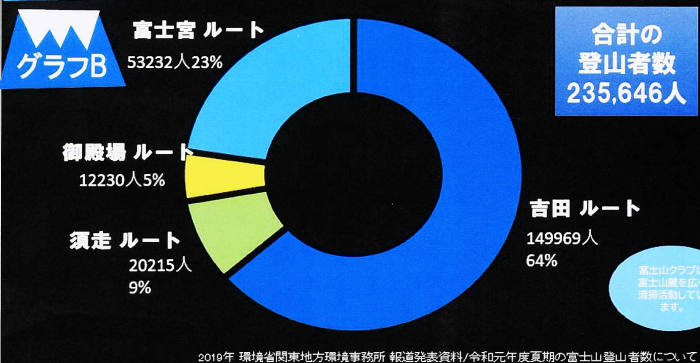
富士山をきれいにする会ごみ回収量



2005年から数値はバラ付きはあるが全体的に減っていることは分かります。2005年に比べ2019年は1/6に減少しました。

2019

2019年の登山者数の割合



例年吉田ルートの登山者数が多いことはグラフAから分かります。更にグラフAの2019年を円グラフにしました。吉田ルートが登山者数が大半を占めています。

富士山クラブによるごみの回収量の統計



確実にごみの量が減ってきているので富士山のごみの量は徐々に減っていると思います。

まとめ

富士山は2013年世界遺産に登録されましたが、ごみの問題が常に話題になっていました。私は富士山のごみ問題がどうなっているのか気になり、今回ごみについて調べました。その結果、減ってきていることが分かり、安心しました。しかし、今後コロナ禍の後に登山者が増えると思いますが、ごみも増えるか心配です。

私の考え

ごみをなぜ捨てるのかという理由として挙げられるのがなるべく荷物を減らしたいと思う登山者がいるからだだと思います。その解決策として私は食べ残や飲み物は捨てるのではなくそこにあるお店で買い、そこに設置されているごみ箱に捨て、そのごみの責任はお店に任せるのが良いと思います。例えば、五合目に買いいたら五合目にあるお店で買い、出たごみは買った店のごみ箱に捨てるという仕組みです。これなら行きも帰りもごみの分だけ荷物を減らせるしなるべく使い捨てのものを持参しないことが大事だと思います。もし持参したいならばそのごみは自己責任として管理すればよいと思います。